

成高の授業ページ **New!**



◆ 3年選択「発達と保育」 成瀬公式Instagram作成

今年は、コロナで実習に行けないので、生徒と一緒に成高子育て応援プロジェクトを立ち上げました。電車などで泣いている赤ちゃんに困っているお父さんやお母さんを応援するため、周りの人に「温かい目で見守ってね」のメッセージを広めていくプロジェクトです。

ポスターやリーフレット、プラバンで作ったマスコットを付けてくださる方や広めてくださる方に無料配布しています。インスタでは作ったリーフレットやポスター、マスコットを紹介しています。問い合わせのメールアドレスも載せています。是非ご覧ください。

授業では毎年、保育園に4回、幼稚園に3回実習に行かせていただいています。また、体育祭には学校近くのわかさ保育園の園児が太鼓をたたきに来てくれるので、お礼のメダルを作り園児にプレゼントしています。実習に行かせていただいたお礼にわかさ保育園の園児には手作りの卒園おめでとうカードをプレゼントしています。(家庭科 並川)



◆ 3年必修「現代社会」

12月以降、3年生には「大学への経済学」と銘打って授業を行っています。経済学入門や経済学概論といった、大学などで開講されている共通教養科目の内容を先取りしたような内容です。とはいっても、これまでの「現代社会」の授業で身に付けた知識や技能を使って理解できる内容で、さらには社会の中の経済生活での「あるある」を経済学的に説明したりしています。もちろん、このあと受験を控えている生徒にも役立つよう、現代社会や政治・経済だけでなく日本史や世界史といった科目の入試問題のポイントも、授業の中でこっそり(?) 伝えています。



今回は、需要・供給曲線を用いた「ミクロ経済学」の基礎的内容を扱いました。例えば、「余剰」という経済学の専門用語について「買う立場と売る立場のおトクと感じる度合い」と説明した上で、モノの売り買いの実例や生徒の実体験をもとにして理解を深めました。また、「もし政府が『キメツのマスク』をこの数以上は売らないように、と規制したら？」と題して、完全競争市場における政府の供給規制が起こったときの余剰の変化について、生徒自身がグラフを描きながら考察や計算に取り組みました。大学の講義レベルというように見えますが、1年間の授業の復習

と、中学校の数学などこれまでの学校教育で身に付けたことを踏まえて、より分かりやすく授業を進めています。また、大学の講義をスムーズに理解することも目的としているので、私からの3年生への「応援メッセージ」のつもりでもあります。

今後も、大学などではオンライン講義が中心となったり、思い描いていた大学生活がままならないこともあったりするかもしれません。知識や教養の獲得と活用、社会生活や大学生としての夢の実現に、少しでも役に立てられたらと思います。(社会科 豊田)

